

あいち 土木の魅力・未来プロジェクト 趣旨報告

令和元年11月11日

『土木』を巡る現状

○課題

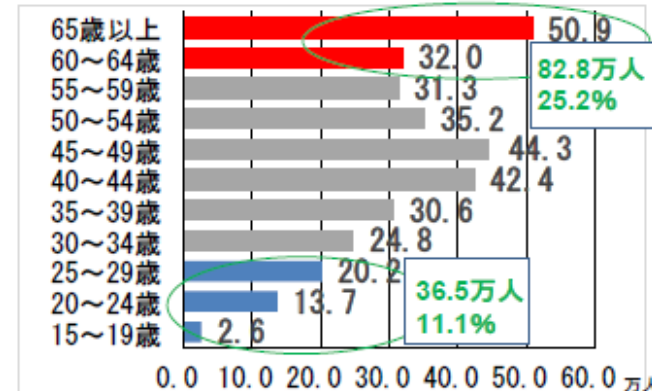
- ・3K(きつい・汚い・危険)イメージの払拭
- ・働き手の減少、高齢化、技術力の継承
- ・土木を学んだ学生が他分野に就職
- ・土木分野に就職した若者の離職 など

○対策

- ・生産性の向上
 - i-Construction
 - ICTの活用(BIM/CIM、ICT建設機械 等)等
 - 新技術(工法、材料、データ活用 等)の開発、活用
 - ⇒人材の確保・育成が必要
- ・働き方改革
 - 週休2日の促進
 - 現場環境の改善(女性も働きやすい職場)
- ・取組についての広報 など

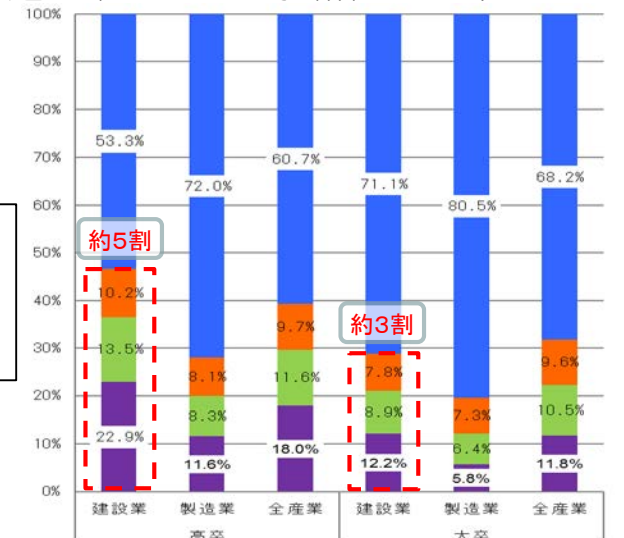
60歳以上の高齢者(82.8万人、25.2%)は、10年後には大量離職が見込まれる。一方、それを補うべき若手入職者の数は不十分。

(年齢階層) 年齢階層別の建設技能労働者数



出所:総務省「労働力調査」(H30年平均)をもとに国土交通省で推計

建設業における離職状況(3年目まで)



出所:厚生労働省「新規高校卒業就職者の産業別離職状況」「新規大学卒業就職者の産業別離職状況」

加えて、将来(未来)の仕事の選択肢として『土木』を認識してもらう努力が必要

これまでの取組と課題

○これまでの取組(事例)

ドローン実演

重機試乗

コンクリート
手練り体験

鉄筋の結束体験

○課題

- ・「担い手の確保」への効果が明確でない。
- ・個別の取組では、注目度にバラツキ、一過性のものとなりがち。
- ・「伝わる」広報となっているか？

『あいち 土木の魅力・未来プロジェクト』の立ち上げ

○目指すべき方向 = 将来(未来)の仕事の選択肢として『土木』を認識してもらう

- ・各主体の未来の担い手確保に向けた取組の一体感・一貫性を高める
 - ・魅力ある仕事であることを強く印象づける(伝わる)体験となるよう工夫する
- ⇒ 注目度・認知度が高まる、印象・記憶に残る

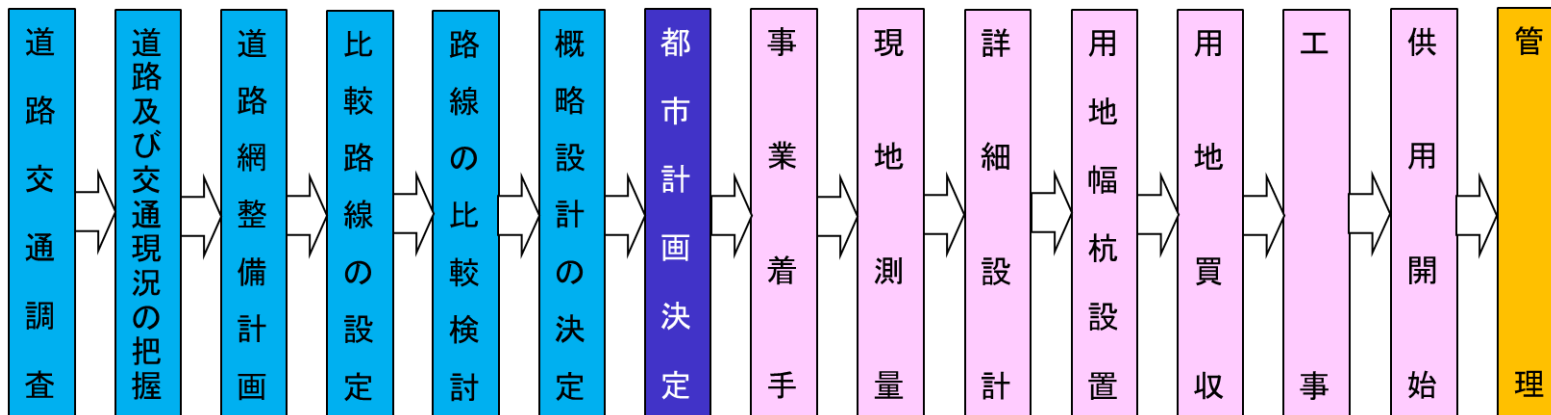
『あいち 土木の魅力・未来プロジェクト』を立ち上げ

『土木』には、様々な職種が関係

<調査、計画、地質、測量、設計、工事、管理、情報、電気、機械、資材・材料 etc>

=プロジェクトの推進には、多くの機関・企業・専門家等の参加、協力が必要

(参考) 道路の整備・管理の流れ(出典：国土交通省資料を一部加工)



『あいち 土木の魅力・未来プロジェクト』の立ち上げ

令和元年11月11日 「噂の土木応援チーム デミーとマツ」の講演と合わせて趣旨説明



(約180人)で、デミーとマツさん